

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 1 日

事務事業名		いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	010602000283
総合計画の施策名		0106 広域行政の推進				単独/補助	単独	所属課	010201
政策名		01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり				主要事業	対象外	企画課	
施策名		06 広域行政の推進				市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		02 他自治体との連携強化				未来PJ事業	対象外	グループ	企画グループ
						合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	単年度繰返し (平成19年度~)		
01	02	01	08	01	00		企画事業		
法令根拠						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 茨城県における北関東自動車道沿線地域の活性化を図るため、茨城県及び北関沿線9自治体、NEXCO東日本を構成団体とする、いばらき北関沿線地域活性化協議会が組織され、沿線の地域資源を活用した広域連携による誘客・周遊促進、インターネット等を利用した情報発信・情報収集、集客施設等と連携した誘客促進を実施している。 (構成団体) 茨城県・水戸市・笠間市・ひたちなか市・筑西市・桜川市・小美玉市・茨城町・大洗町・東日本高速道路株式会社関東支社	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・担当会議への参加 ・地域資源を活用した広域連携による誘客・周遊促進 桜川市の上野沼やすらぎの里で開催されたイベント「森コミいち」を支援し、桜川市産パン用小麦「ユメシホウ」のPR、市内外の出店者のクラフト展示、販売等、116店舗が出店し、約2,000人の来場者で賑わった。また、ひたち海浜公園で開催されたオータムフェスティバル2014において、観光パンフレットの配布、ステージでの桜川市のPR等を実施した。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・担当会議への参加 ・地域資源を活用した広域連携による誘客・周遊促進	担当者会議開催数	回	4.00	0.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
いばらき北関沿線地域活性化協議会構成団体	構成団体数	団体	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
北関沿線自治体との連携による地域資源のネットワーク化	連携PR実施回数	回	5.00	0.00	5.00	5.00	5.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	112	0	80	80	80
	事業費計(A)	千円	112	0	80	80	80	0
量	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	289.00	200.00	200.00	200.00	200.00	
	人件費計(B)	千円	838	580	580	580	580	
トータルコスト(A)+(B)		千円	950	580	660	660	660	

27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
				19 負担金補助及び交付金		80	
合計				合計			
0				80			

(4) 当該年度の実施内容

28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業		

事務事業名	いばらき北関沿線地域活性化協議会参画事業	事務事業No.	10602000283	所属課	企画課
-------	----------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成19年度に茨城県及び北関沿線9自治体、NEXCO東日本を構成団体とする、いばらき北関沿線地域活性化協議会が組織された。 平成20年4月12日に桜川筑西1C~笠間西1C間が開通し、平成20年12月20日桜川筑西1C~真岡1C間が開通、東北道と常磐道がつながり、平成23年3月19日には全線が開通した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 北関協議会が支援した平成25年度「森コミいち」においてアンケートを実施し、「また来てみたいと思いますか」の設問に対し、回答者48名中46名が「思う」と回答している。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 広域連携による誘客・周遊促進であり、近隣自治体との連携強化に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地域情報のPR、周辺自治体との連携であり、妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 協議会として新たな広域的企画・仕掛けづくりに取り組むことにより、誘客・周遊を促進する余地がある。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 北関沿線の自治体やNEXCO東日本との連携する機会が減少する。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 北関沿線自治体による連携は他にないが、観光PRが主となる場合、商工観光課が実施しているPR事業と連携できる可能性がある。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 協議会の実施事業を見直し、負担金を減額できる可能性がある。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 北関沿線地域の活性化が目的であり、桜川市全体のPRにもつながるため、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	昨年度に引き続き、桜川市の上野沼やすらぎの里で開催されたイベント「森コミいち」を支援した。次年度も「森コミいち」の支援を協議会構成団体に提案することにより、桜川市のPRにつながる。 協議会の活動としては、観光PRが多いため、商工観光課及び観光協会と連携する必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 PR活動の際に、各自治体のゆるキャラが参加することがあるが、桜川市には公認のゆるキャラが存在しないため、商工観光課と連携し、石匠の見世蔵でデザインされたキャラクターであるいしおさんに協力を依頼する。 負担金の金額については、協議会で決定することであるため、構成団体と協議する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			×																		
	低下			×																		
(6) 事務事業優先度評価結果																						
成果優先度評価結果 ⑥																						
コスト削減優先度評価結果 ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>